

# 2024年 ろうきんクイズ

☆ロッキー賞(中央ろうきん提供)  
クオカード 1000円 20本

☆ピンキー賞(中央ろうきん提供)  
印鑑ケースと捺印用マット 20本



【第1問】中央労金では群馬地区限定で、6月1日～12月30日までの期間に対象の取引をおこなうと最大で2,000円分のクオカードをプレゼントするキャンペーンを実施しています。そのキャンペーンの名称は次のうちどれでしょう？

- ①出直しキャンペーン ②やり直しキャンペーン ③見直しキャンペーン

【第2問】前問のキャンペーンで対象となる4つの取引とは、「給与振込の指定」「貯蓄の契約」「投資信託の増額」と、あと1つは次のうちどれでしょう？

- ①金利の見直し ②ローンの見直し ③家計の見直し

【応募方法】「支部・分会・氏名・クイズの答え」(自筆のものに限る)を記入して、県教組にFAXで送ってください。

FAX: 080-0800-0550(県内フリーFAX) ※切封10月25日(金)です。

## カムバックセミナー開催

県教組では、育休明けで学校に復帰する組合員や未組合員の不安を少しでも軽減してもらうため、仕事と子育てを両立するための制度や経済的な支援についてセミナーを行います。

当日は託児の用意もありますので、ぜひお子様連れでお越しください。

### 申込み方法

県教組熊井宛にメール

(kumai@gtunet.com)か

FAX(080-0800-0550 県内フリー)で、

参加者名、所属、託児の有無をご連絡して

ください。様式は特にありません。

※昨年は非常に好評でした。

○日時: 2024年11月16日(土) 10:00~11:30

○会場: 群馬県教育会館

○参加対象者: 育休中の組合員、未組合員。これから産・育休に入る方(男性も含む)

○内容: 「応援します!仕事&子育て」(復帰して間もない組合員がお話します。)

「育児に関わる制度・休暇等」(事務長がお話します。)

「賢く使おう・ろうきん」(ろうきん職員がお話します。)

—— 組織内議員 群馬県議会議員 本郷高明より ——



### 不登校支援の重要性: 学校復帰を目指す柔軟な取り組みを

文部科学省の発表によると、2022年度に不登校の小中学生が約29万9000人に達し、10年連続で増加しました。また、高校生(全日制・定時制)においても約6万人が不登校状態となり、2年連続の増加が報告されています。この深刻な状況を受け、全国で不登校支援の取り組みが進められていますが、依然として子どもが学校に復帰し通学することが、子どもや保護者にとって大きな目標となっています。学校生活は、単に学問を学ぶ場であるだけでなく、集団生活を通じて助け合いや忍耐といった社会性を育む場でもあります。子どもの将来や進路を見据えたとき、学校での経験が持つ意義は大きいとされています。不登校の子どもが学校に戻る第一歩として、オンライン学習は有効な手段の一つですが、最終的には学校生活が持つ役割を補完するものとして位置づける必要があります。子ども一人ひとりの状況に応じた支援を提供し、安心して学べる環境を作ることが今後の課題です。学校、家庭、地域が連携し、不登校児童・生徒が将来への希望を持てるような支援体制の強化が求められています。引き続きの取り組みを強化していきます。

〈中央ろうきん〉群馬地区限定

## 見直しキャンペーン

今すぐ始めよう物価上昇対策!

実施期間 2024年6月1日▶12月30日 QUOカード 500円分

①②③④ いずれかのお取引で 最大 2,000円分プレゼント!

1 給与振込の指定	給与受取口座として新規指定された方 (毎月10,000円以上の指定)
2 貯蓄の契約	エース預金または財形貯蓄を新規契約された方 (毎月積立金額5,000円以上の契約)
3 投資信託の増額	投資信託定時定額買付サービスを増額契約された方 (毎月5,000円以上の増額)
4 ローンの見直し	他行他社ローンの借換により住宅ローンや車・カードローン等を新規契約された方

まずはここからエントリー ▶

※投資信託の詳細はこちら ▶

【キャンペーン共通事項】※個人のお客様のみを対象とさせていただきます。※他キャンペーンとの重複適用はできません。QUOカードはお一人様最大4枚、2,000円分までとなります。※詳しくは(中央ろうきん)群馬地区各営業店までお問い合わせ下さい。【給与振込口座の対象条件について】※群馬地区内の普通預金口座がキャンペーンの対象となります。※毎月10,000円以上の振込が対象となります。※第2口座も対象となります。※対象となるご契約は、当金庫のシステムにて給与振込と判定できるものに限ります。※お勤め先の給与振込方法によっては対象とならない場合があります。※2024年12月末日までに当金庫口座へ給与振込された方が対象です。※対象期間内に複数回指定していただいた場合でも、QUOカードはお一人様1枚(500円分)となります。【エース預金・財形貯蓄の新規契約について】※エース預金は積立商品です。※財形貯蓄・エース預金は新規契約が条件となります。※毎月積立金額5,000円以上の契約が対象となります。【投資信託定時定額買付サービスの増額契約について】※2024年4月1日以降に新規契約いただいた口座はキャンペーン対象外となります。※毎月5,000円以上の増額契約を対象とさせていただきます。※課税口座・非課税口座(NISA)ともにキャンペーンの対象となります。※対象期間内に複数回増額契約いただいた場合でも、QUOカードはお一人様1枚(500円分)となります。

〈中央ろうきん〉へ取次ぎを希望の方は組合事務所まで  
商品の詳細は(中央ろうきん)群馬県内各支店へお問い合わせください。  
中央労働金庫 登録金融機関 関東財務局長(登金)第259号 2024年7月1日現在



発行所  
前橋市大手町3の1の10  
(教育会館)  
電話(027)231-1151(代)  
群馬県教職員組合  
http://gtunet.com

群馬県教職員組合HP

# 県人事委員会へ要求書を提出

10月上旬に予定されている群馬県人事委員会勧告にむけて、県職連(県教組・県職労・高教組・群企労)は、9月2日(月)に群馬県人事委員会との交渉をおこない、「2024年度人事委員会勧告に関する要求書」を提出しました。交渉では、要求書を提出した後、各単組委員長が現場の実態や組合員の声に基づいた要請をおこないました。これにより、私たち教職員をはじめとする地方公務員の賃金・労働改善についての交渉がスタートしました。

### 要求事項<抜粋>

- 賃上げ率や物価の高騰等、社会経済情勢を踏まえた全ての世代への月例給及び一時金、各種手当等の引上げを勧告すること。
- 55歳を超える職員への昇給抑制を廃止し、すべての在職者が定年まで定期的に昇給できるよう給料表の号給を延長すること。
- 教育職給料表については、教育公務員特例法・人材確保法の趣旨を踏まえ、勤務の実情に応じた適切な水準を確保すること。また、教職員の勤務実態を踏まえ諸手当を増額するよう勧告すること。
- 再任用職員の給与制度について、期末・勤勉手当をはじめとする諸手当を含めた全体的な処遇改善を勧告すること。
- 退職手当の支給にあたり、育休期間については、在職期間の割り落としを行わないよう勧告すること。
- 教職員の時間外労働を縮減するため、任命権者に対し、業務の見直し等の取組を一層推進するよう勧告すること。
- 更年期障害休暇により、勤務困難となるときは、休暇制度の新設を勧告すること。
- 障害児を養育する職員に対する休暇制度の新設を勧告すること。
- 育児時間、育児部分休業、子育て部分休暇の取得について、勤務パターン・取得日数の拡大を行うこと。
- 看護のための休暇の取得日数、取得要件を拡大するよう勧告すること。特に、複数の子や障害のある子を養育する職員に対しては、取得日数をさらに加算すること。
- 再任用職員・会計年度任用職員・臨時的任用教職員の処遇について、同一労働・同一賃金の考え方から、正規職員との較差是正、処遇改善について、任命権者を指導すること。

## 「知事あてメッセージ」を送ろう!

組合員の皆さんには、「知事あてメッセージ」(旧「知事あてハガキ」)のとりくみをお願いします。このとりくみは県職連の4単組組合員が全員で行うものです。できる限り多くの県職員の声を集めることも重要なとりくみの一つです。

※2面にメッセージ文例がありますので参考にしてください。

### 【メッセージの送り方】

- ①二次元コードからメッセージフォームに入る。
- ②職場、氏名、メッセージを入力して、送信する。



知事あてメッセージ  
(旧・知事あてハガキの取組)



## 衆議院総選挙(群馬1区)

# 白井けいこさんを推薦決定

県教組は9月4日の執行委員会において、次の衆議院総選挙(群馬1区)に立候補予定の白井けいこさん(立憲民主党・新人)を推薦決定しました。白井さんについては、すでに連合群馬も推薦決定をしています。連合群馬加盟組織の仲間とともに、県教組も白井さんの当選に向けてとりくみをすすめます。



組合加入はスマートフォンインターネットからも! 仲間の声を広げよう! 組合加入はこちら▶



## 知事あてメッセージ文例

- 学校の教員です。今年4月から再任用となりました。学級担任として、退職前と同じ仕事内容なのに、給料もボーナスも大きく減ってしまいました。再任用職員の給料や手当を引き上げてください。
- 小学校の特別支援学級担任です。8人が在籍しています。8人では、それぞれの個に応じた指導は無理です。子ども達がかわいそうです。特別支援学級の人数を6名以下に改善してください。
- 学校では、担任以外の先生が少ないので、誰かが病気で休んだり休暇をとったりすると、代わりの先生がいなくなってしまう。そんな状況なので、休暇をとることをひかえている職員がたくさんいます。休暇がとりやすい職場にするために、もっと担任外の先生を増やしてください。
- 学校現場では、まだまだ業務の削減が進んでいません。長時間勤務の実態も変わっていません。学校独自、教員一人一人の努力だけでは改善は無理です。
- 長時間労働や教員不足等、学校はとても大変です。そん

- な中でも、子どもたちのためと思い頑張り続けてきました。そのモチベーションを保つためにも、全世代での賃金・手当の大幅な改善をお願いします。
- 小学6年生を担任しています。現在35人以下学級となっていますが、「個別最適な学び」「個に応じた指導」を行うにはまだまだ人数が多すぎます。中学3年生までの三十人以下学級の実現を強く希望します。
- 臨時採用職員は給与の上限が決まっているため、上限に達すると継続して働いても給与が変わりません。しかし、臨時採用教職員も正規の職員と同様な仕事をしていて、経験とともにスキルアップもしています。給与上限の撤廃または上限の引き上げをお願いします。
- 50代後半の年齢ですが、まだ大学生の子どもが2人いるので家計は厳しいです。近年は、結婚年齢が上がっているのと同様な状況の職員も多いと思います。安心して子どもを育てるためにも、55歳昇給停止を止めて、定年まで昇給できるようにしてください。

## 教職員ボウリング大会を開催

8月7日(中北毛地区)、8月22日(高崎・西毛地区)、8月23日(東毛地区)の3日間、教職員ボウリング大会を開催しました。この大会は、共済組合の体育大会等の助成を受けて開催しているものです。かつては、スキー大会やバレーボール大会などを開催してきましたが、20年程前からは教職員が気軽に参加できる競技をということで、「ボウリング大会」を開催してきました。



今年は3会場で開催し、130名の参加がありました。「1ゲームを3人で1投ずつ投げ、6ゲームの合計点で競う」というチーム戦なので、どのチームもチーム内で声をかけ合い・励まし合いながらプレイしていました。どの会場も大変盛り上がりました。



開会の挨拶をする永井 浩さん

## 「みずおか俊一」さんと対話集會を開催

8月28日(水)、8月31日(土)、9月5日(木)の3日間、県内各地で参議院議員「みずおか俊一」さんの対話集會が開催され、県教組組合員や教員OBが参加しました。各会場では、参加者から、教職員の働き方改革・教員不足の解消・教職員の定数改善・学校での水泳指導・平和教育など、多岐に渡った発言がありました。みずおかさんからは、参加者の発言に対するコメントの他に、国会情勢、国会での首相や文科大臣等とのやり取りの様子など興味深いお話も聞くことが出来ました。



太田地区



県央地区



北群馬地区



碓氷地区



水岡俊一さん



高崎地区



甘楽地区



甘楽地区



桐生地区

## 全国の仲間とともに(その2) 第65次日教組全国学校事務研究集會 in 新潟

7月27(土)~28日(日)に、全国から400名を超える事務職員が新潟県越後湯沢町にあるナスパニューオータニに参集しました。群馬からは4名が参加しました。

1日目は、開会行事及び全体会がおこなわれ、開会行事では、日教組事務研推進委員長の基調報告、日教組事務職員部長から中央情勢報告がありました。その後の全体会では、元日教組事務職員部長の野川孝三さんによる「最大の危機を乗り越えるためには、事務職員が求めるもの、求められるもの」と題しての講演がおこなわれました。

2日目は、5つの領域・テーマが設定された分科会にそれぞれ参加しました。分科会で各都道府県のとりくみが提案され、活発な意見交換や討議がおこなわれました。

また、全体交流会では、参議院議員の水岡俊一さんが見えになり、国会情勢や次期参議院議員選挙の当選にむけた意気込みなどを話されました。

来年は、群馬県で全国事務研が開催されます。



## 日教組養護教員部研究集會

全国の養護教員の方々と交流の場が持てて、先生方の様々な考え方に触れることができるとても有意義で学びの多い研究集會でした。勤務地や校種は違っても志は一つ。目の前の子どもたちのために、自分は何が出来るのだろうか日々悩み奮闘している方ばかりでした。集會に参加して、養護教員同士の横のつながりの大切さを肌で感じる事ができました。今後はぜひ、若い先生方にも参加をしてもらい一緒に勉強をしていきたいです。

今回「インクルーシブ教育の推進と医療的行為の担い方」という内容で弁護士の方による記念講演がありました。今の私たちには何が出来る何が出来ないのかを見極めること、目の前の課題に対してどのように捉え考え、子どもたちのためにどんな行動を起こすのか等、改めて考えられる有意義な時間を過ごす事ができました。多くの養護教諭、特にこれからの教育を担う若い先生方と一緒に学んでいきたいと強く思った研究集會でした。

## 関ブロ青年討論集會 in 山梨

「アツい…。群馬よりもじっとりとした重たい空気…。」山梨の洗礼を受けつつ、今年度の青年討論集會が始まりました。周囲を山々に囲まれた山梨市の土地。幹線道路が発達している一方で自然にあふれた素晴らしい土地。『熱く厚く暑く…』のスローガンのもと、今年度は1日目の全体会、分科会のみ参加をしました。

全体会では、東日本大震災当時、またその後の学校現場について講話いただき、報道では語られていない学校現場の実情を知ることができました。被災中心地に勤務していた職員のその後…大変な苦労があったことを知り、胸が詰まる思いでした。

また、分科会では『組織強化・拡大』について話し合いました。リポーターとして本県の実情を発表するだけでなく、他県の学校現場の実情や先生方の考えを聞くことができました。「熱量を伝えること。」これが今回の私たちの分科会でのキーワードであったと思います。今私たちが持っている熱量そのまま、熱くアツく、広げていくことが大切だと口々に語られていました。

この度の関ブロでも新しい発見があり、そして何よりも頑張っているなかまと交流することで、自分の意欲を高め帰ってくる事ができました。これで終わりにしてしまうのではなく、必ずやこの経験と思いを今後の学校での活動及び組合活動につなげていきたいと思っています。

第4分科会では「子どもの学び・授業研究」をテーマに、「ICTを活用した学習者主体の授業づくり」と「学校にきたい・もっと学びたいと思える学校、授業づくり」について話し合いました。4人組で話し合った後、発表し合う形式でした。

前者では、ICTの活用例を紹介し合いました。単元目標・ワークシート・提示資料・振り返りを1枚に収めたポートフォリオやCanvaというアプリを使った、ポスターや文化祭に使用する動画作成などが挙げられました。後者では「授業のUD(ユニバーサルデザイン)化」について、長野県の先生から提案がありました。UD化の具体例は、

- ① 視覚化(ビジュアル)→学習内容がイメージしやすくなる。
- ② 焦点化(シンプル)→指導内容を絞る。
- ③ 共有化(シェア)→学びを確認・拡散する。

の3つです。②と③はしばしば耳にするが、①は見落としがちなどところであるかもしれないと思います。工夫した授業はかえって複雑になり、学力低位の子どもにとってはわかりづらいものになってしまうこともあるため、授業のねらいをしっかりと押さえおくことが必要であると改めて感じました。

初日の働きやすい職場づくり第3分科会の学習会では、それぞれの都道府県の情報共有を行いました。特に留守番電話の導入やICTを利用した業務削減をどう進めていくかなど、非常に充実した学習の機会となりました。今回の関ブロでは単組ごとの規模差を感じましたが、学校現場で悩んでいることは共通しているものが多かったため、取り入れるべきところは取り入れていきたいと考えました。

2日目は山梨の特産品であるぶどうやワインについて、フィールドワークを行いました。楽しかっただけではなく、なぜ山梨にぶどう・ワインが結びついているのか、土地や歴史までを理解することができました。有意義な学習になったので、実際にクラスの子どもたちにも紹介しました。

隣県の各単組の皆様とも交友を深めることができ、非常に充実した2日間となりました。群馬県開催に向けて準備を進めていきたいです。

